

F11 ヴォルクス VOLX

ヴォルクスの岩場は雨が降っても登れる岩場として、また地元クライマーのトレーニング場として多くのクライマーに愛された岩場である。しかし最近ではほとんどのルートを登ってしまった為か、それともあきってしまったのか、あまりうまくクライマーの姿を見ることはなくなった。たまに見ることもあるが完全にトレーニングと化している。ガバのド被りで、比較的にじまりしていて、チッピングも少ないので、最近では日本人を始めとするフランス人以外に人気があるようだ。

ポルダ的な動きとルートの長さが日本の岩場に近いせいか、日本人にはグレードが甘く感じるようだ。

ただガバを引き付けるだけでつまらないという人もいるが、一度は行く価値がある。エリアは左端にあるケイブのエリアがメインエリアとなる。これ以外にも小さな岩がたくさんありルートの多いエリアもあるがあまり登られていない。ケイブは5・12-5.13の前半が特に充実している。

日本人の再登者が多い5.14 マジライン(ファフォン)やユージが2000年のレフトポイントしたスーパーブラフォン(5.14c)もこのエリアにある。



スーパーブラフォン(8c+/5.14c)の平山ユージ

岩質
石灰岩

ルート

高さはほとんど20m以内。左壁に5.11台のルートがありウォーミングアップに使われる。

中間部はどれもガバのド被りでここは集中している。シャルルドゴール(5.12b)、フエコ(5.12c)、インビテーションオブボヤージュ(5.13a)などグランペの南仏ベスト100ルートに選ばれたルートもここにある。メインウォールの手前にもケイブがありガロテスク(5.13c)などのユニークな形状のルートもある。

他の岩場が雨や、雨後の染み出しで登れないときにも、状態が良いことが多く利用価値は高い。

宿泊

周辺にキャンプ場がたくさんある。一番近い大きな街はマノスクで安いホテルもある。マノスクのインフォメーションで聞いてアパートを借りても良い。

シーズン

ベストは春と秋。ただし昼間は晴れるとかなり暑い。逆に日が出ていないと震えるほど寒い日もある。

夏の昼は暑くて登れないが、日が長いので夕方から涼しくて良い。

冬は曇ると非常に寒い。(14時くらいには暗くなる)

しかし12月からクリスマス過ぎまでは、ルートの取り付きに巨大な木製の雪だるまおぼ

けのオブジェが設置され、暗くなってからライトアップされるので夜でも登れる。

実際この時期指がかじかんで1日2回ほどしかトライできない日もある。サーチライトで手を暖めてから登る者もいた。

ショッピング、トボ

マノスクの街はかなりおおきな街でたいがい1000円のものが入る。マノスクからヴォルクスへの道筋にも大きなスーパーマーケットがある。

トボは正式なものがないので、当ホームページからプリントアウトして行くこと

ヴォルクスの町のカフェで手書きのトポを売っているが、こんなひどいトポは見たことがないという代物である。

アプローチ

MANOSOUE からN96号をSISTERON 方面へ向かう。途中スーパーマーケットなどを過ぎVOLXの町に入る頃には岩場も見えてくる。N96号から別れ、町の広場を過ぎ、突き当たりまで行って右折。坂を登り、細い路地を登って行くと岩場の下に着き、パーキングがある。そこから歩いて5分。

レスト

ベルドン、エクサンプロバンスなど

シャトベールの項目参照。

95年秋 木村伸介
2000年秋 内藤直也